

中学校 2 年

ヨーロッパの人々が日本に来航したのはなぜ！？

羽曳野市立高鷲中学校

教科

社会科

単元名

ヨーロッパ人との出会いと全国統一

単元の目標

- ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣・徳川による統一事業を基に、近世社会が築かれたことを理解する。(知識及び技能)
- 織田・豊臣・徳川の3人の武将を中心に、戦国の世から近世の社会へととまどっていく流れを多面的・多角的に読み取り、自分の言葉で説明をすることができる。(思考・判断・表現)
- 中世から近世へと変化していく流れについて、意欲的に情報を収集し、自分なりに整理分析しながら、捉えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

本時で育む主な情報活用能力

B-STEP 4, C-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

- ・ヨーロッパの人々が日本を含めたアジアに來航してきた理由をこれまで学んできた中世ヨーロッパの動きを関連させながら説明することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

本時においては、情報活用能力のうちの「情報の収集」「整理・分析」について重点的に育成するために、以下の3つの環境を設定する。

- ①情報の収集源を共有できる環境（**情報を収集する力**の育成のために）
⇒スプレッドシートで各自が調べたサイトや教科書を含めた書籍などの情報を参照できる環境をつくる。
- ②他者と自分の考えを比較できる環境（**情報を整理・分析する力**の育成のために）
⇒Canva では、自分の考えを発信し、他者の考えを知る環境を設定する。また、集められた情報を思考ツールを活用して、整理・分析するワークを設定する。
- ③最後のまとめの場面では、今回習得をめざすメインスキルではないため、Canva のテンプレートを活用してまとめやすいようにしている。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・クラスルーム ・スプレッドシート ・ドキュメント ・Canva

本時の展開（4/9 時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	●指導上の留意点 ○ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	・前時までの学びを振り返る。 ⇒これまで実施したワークなどのデータを振り返る。 ・本時のめあて(問い)を確認する ⇒ヨーロッパの人々が日本に來航してきたのはなぜだろう？	○自分の学びがポートフォリオ化されてデータとして残っているの で、これまでの学びを振り返りやすい。
展開 (25 分)	・(情報の収集)これまでの学びを振り返ったり、友達に聞いた りしながら、1 人 3 つの仮説を書き出す。(10 分) ⇒友だちと相談しながら、個人でこれまでの学びを振り返りな がら等、自分の学びやすい環境を設定して、3 つ以上の仮 説を書きだす。 ・(整理・分析)書き出されたデータについて、班で検討し、情 報を整理する。(15 分) ⇒ワイチャートを用いて、集められた仮説を班のグループで検 証し、整理・分析する。	○Canva のホワイトボード機能を活用し、情報を一元管理し ているので、適切な情報を収集しやすい環境が整っている。 ○クラウド上での作業となるため、自分の仮説を班のメンバーに 瞬時に共有できることから、その後、すぐに整理分析していけ る環境を整えることができる。
まとめ (15 分)	・(まとめ・表現)自分の考えをまとめる。 ⇒整理・分析した情報をもとにしながら、めあて(問い)に対す る自分の考えを表現する。	○まとめ・表現の習得に関しては、今回の習得をめざすメイン スキルではないので、すぐに書き込めるように Canva のプレゼン テーション機能のテンプレートを活用して入力しやすい環境を 整えている。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

タブレットの活用目的は情報活用能力の育成であり、今回はその中でも「情報の収集」「整理・分析」に特化した活用方法を意識しました。スプレッドシート、Canva と、それぞれにしっかりと活用の目的を持たせることを意識しました。目的を明確化することで、生徒たちにもより分かりやすい実践になると思います。